

別紙

警察署長は、駐車許可の申請内容が、次の1から4のいずれにも該当する場合又は警察署長がやむを得ないと認める場合に許可するものとする。

1 申請日時

駐車に係る用務の目的を達成するために必要な時間を超えて駐車するものでないこと。

2 申請の場所及び方法

次のいずれにも該当する場所及び方法であること。

- (1) 場所については、当該時間制限駐車区間を利用する他の車両を著しく妨害する場所でないこと。
- (2) 方法については、当該方法で駐車することにより、交通に危険を生じ、又は交通を著しく阻害することとならないこと。

3 駐車に係る用務

次のいずれにも該当する用務であること。

- (1) 公共交通機関等の当該車両以外の交通手段によったのでは、その目的を達成することが著しく困難と認められる用務であること。
- (2) 当該時間制限駐車区間において道路標識等により表示された時間以内の駐車その他駐車違反とならない方法によることがおよそ不可能と認められる用務であること。
- (3) 道路交通法第77条第1項各号に規定する行為を伴う用務でないこと。

4 駐車可能な場所について、次に掲げる範囲に、路外駐車場、路上駐車場及び駐車が禁止されていない道路の部分のいずれも存在せず、又はこれらの利用がおよそ不可能と認められるものであること。

- (1) 重量物又は長大な貨物の積卸しで用務先の直近に駐車する必要がある車両にあっては、当該用務先の直近
- (2) その他の車両にあっては、当該用務先からおおむね100メートル以内

5 現に交通の妨害となるおそれはあるが、警察署長がやむを得ないと認める場合であること。

「やむを得ないと認める場合」とは、以下の場合をいう。

- (1) 大規模災害に至らない程度の災害時における関係機関車両や家屋点検、手荷物運搬等の駐車であること。
- (2) 歩行困難な独居老人等で家族等が定期的に病院等に健診送迎するための駐車であること。
- (3) 危険物を運搬する交通事故車両の長時間を要する駐車であること。
- (4) その他真に警察署長がやむを得ないと認める場合の駐車であること。